

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-333270
(P2001-333270A)

(43)公開日 平成13年11月30日(2001.11.30)

(51)Int.Cl.

H 04 N 1/387
G 06 F 3/00
3/12
G 06 T 3/00
11/80

識別記号

6 5 1
3 0 0

F I

H 04 N 1/387
G 06 F 3/00
3/12
G 06 T 3/00
11/80

テ-マ-ト(参考)
5 B 0 2 1
6 5 1 B 5 B 0 5 0
V 5 B 0 5 7
3 0 0 5 C 0 2 3
E 5 C 0 7 6

審査請求 未請求 請求項の数 4 OL (全 9 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願2000-153662(P2000-153662)

(22)出願日

平成12年5月24日(2000.5.24)

(71)出願人

富士写真フィルム株式会社
神奈川県南足柄市中沼210番地

(72)発明者

野田 嘉司
東京都港区西麻布2-26-30 富士写真フィルム株式会社内

(72)発明者

城後 尚純
神奈川県足柄上郡関成町宮台798番地 富士写真フィルム株式会社内

(74)代理人

100075281
弁理士 小林 和慈

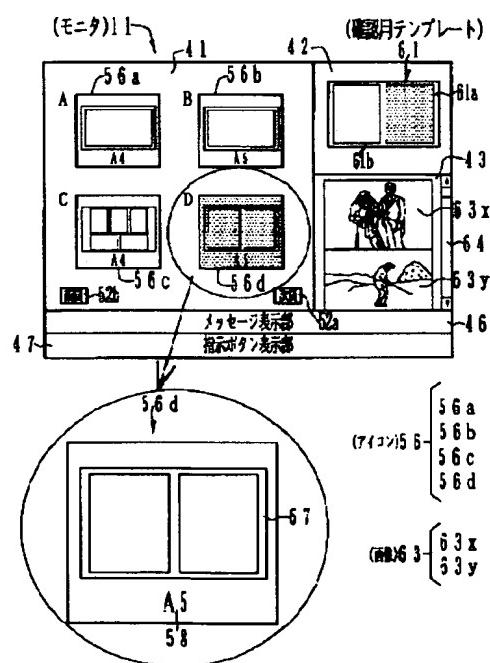
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 画像合成確認方法及び装置

(57)【要約】

【課題】 複数の画像の合成状態を確認できるようにする。

【解決手段】 アルバム台紙や名刺作成用の特殊な記録用紙に合わせて、画像合成に用いる複数のテンプレートが用意されている。各テンプレートに対応したアイコン56a, 56b...がミニタ11に表示される。各アイコン56a, 56b...は、テンプレートを模式的に表す図形57と、用紙サイズを示す文字情報58とから構成される。表示されたアイコン56a, 56b...を指定することで、テンプレートが選択される。選択されたテンプレートに対応する確認用テンプレート61が表示される。確認用テンプレート61は、画像を嵌め込むコマを指定すると、これを嵌め込み予定コマとして反転表示する。合成すべき画像を指定すると、この画像を縮小したサムネイル画像が確認用テンプレート61の中の嵌め込み予定コマに嵌め込まれる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 (A) 画像合成の形態が異なった複数のテンプレートにそれぞれ対応した複数のアイコンを表示手段に表示するステップと、

(B) 複数のアイコンの中から1つのアイコンを選択することで、1個のテンプレートを指定するステップと、

(C) 指定されたテンプレートによる画像合成の状態を確認するために、テンプレートと同じようにレイアウトされた複数のコマを有する確認用テンプレートを表示手段に表示するステップと、

(D) 確認用テンプレート中のコマのうち合成する画像を嵌め込むコマを指定するステップと、

(E) 指定された少なくとも1個のコマを嵌め込み予定コマとして識別可能に表示するステップと、

(F) 表示手段に表示された少なくとも1つの画像の中から、指定したテンプレートで嵌め込み合成すべき画像を指定するステップと、

(G) 指定された画像を確認用テンプレートの嵌め込み予定コマに嵌め込むステップと、

(H) 前記ステップ(D)～(G)を繰り返すことで、確認用テンプレートのコマに画像を嵌め込むことにより、テンプレートを使用して画像を嵌め込み合成する際の合成状態を確認可能としたことを特徴とする画像合成確認方法。

【請求項2】 画像合成の形態の違いは、1枚の記録用紙にプリントされるべきコマの個数の違いによることを特徴とする請求項1記載の画像合成確認方法。

【請求項3】 画像合成の形態は、更に、記録用紙のサイズ、各コマのサイズの違いによることを特徴とする請求項2記載の画像合成確認方法。

【請求項4】 画像合成の状態を確認するための表示手段と、

画像合成の形態が異なった複数のテンプレートにそれぞれ対応した複数のアイコンを表示手段に表示させるための手段と、

複数のアイコンの中から1つのアイコンを選択する手段と、

アイコンを介して指定されたテンプレートによる画像合成の状態を確認するために、テンプレートと同じようにレイアウトされた複数のコマを有する確認用テンプレートを表示手段に表示させるための手段と、

確認用テンプレート中のコマのうち合成する画像を嵌め込むコマを指定する手段と、

指定された少なくとも1個のコマを嵌め込み予定コマとして識別可能に表示させるための手段と、

表示手段に表示された少なくとも1つの画像の中から、嵌め込み合成すべき画像を指定する手段と、

指定された画像を確認用テンプレートの嵌め込み予定コマに嵌め込む手段とを備え、テンプレートを使用して画像を嵌め込み合成する際の合成状態を確認可能としたこ

とを特徴とする画像合成確認装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、テンプレートを使用した画像合成状態を確認するための方法及び装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】スキャナーや電子スチルカメラ等の入力装置と、パソコンと、デジタルプリンタとかなる画像形成システムを用いて、入力装置から取り込んだ複数の画像をテンプレートを用いて合成し、デジタルプリンタで記録用紙に合成画像をプリントすることが知られている。デジタルプリンタとしては、銀塩写真式、熱記録式、インクジェット式等が用いられる。

【0003】記録用紙には、名刺作成用の記録用紙やアルバム台紙用の記録用紙など用途に応じて各種のものがある。例えば、名刺作成用の記録用紙は、予め名刺サイズにミシン目などが入れられており、アルバム台紙用の記録用紙には、バインダにそのまま綴ることができるようバインド用の穴が形成されている。これらの特殊な記録用紙では、画像が記録されるコマの大きさやコマのレイアウトなどが予め決められており、この決められたコマのサイズやレイアウトに合うように、画像の倍率や記録する位置を指定して複数の画像が合成される。

【0004】1枚の記録用紙に記録すべき画像の種類数と、その個数(リピート数)とをユーザーが任意に指定することができるようとした画像形成装置が知られている(特許番号第2746709号公報)。この画像形成装置では、複数する画像の種類数を指定する手段と、指定した画像毎の複数(リピート数)を指定する手段とを備えている。また、複数する画像のサイズは、倍率を指定することで決定される。これらの指定は、テンキーでそれぞれ任意の数を入力することによって行われる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、テンキーによって画像の種類数と複数回数と倍率とを指定する場合には、ユーザーが、用紙サイズ、画像サイズ、画像のレイアウト等をイメージしながら行うために、ユーザーの期待どおりのプリントを得ることが困難であり、ミスプリントの発生を避けることができないという問題があった。

【0006】本発明は、画像の合成状態を確認することで、プリントミスの発生を防止することができるようとした画像合成確認方法及び装置を提供することを目的とするものである。

【0007】また、本発明は、合成しようとする画像のレイアウトと個数とを、画像合成前に確認できるようにした画像合成確認方法及び装置を提供することを目的とするものである。

【0008】更に、本発明は、特殊な記録用紙へのプリ

ントを簡単にすることができるようとした画像合成確認方法及び装置を提供することを目的とするものである。

【0009】

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため、請求項1記載の画像合成確認方法は、(A) 画像合成の形態が異なった複数のテンプレートにそれぞれ対応した複数のアイコンを表示手段に表示するステップと、(B) 複数のアイコンの中から1つのアイコンを選択することで、1個のテンプレートを指定するステップと、(C) 指定されたテンプレートによる画像合成の状態を確認するために、テンプレートと同じようにレイアウトされた複数のコマを有する確認用テンプレートを表示手段に表示するステップと、(D) 確認用テンプレート中のコマのうち合成する画像を嵌め込むコマを指定するステップと、(E) 指定された少なくとも1個のコマを嵌め込み予定コマとして識別可能に表示するステップと、

(F) 表示手段に表示された少なくとも1つの画像の中から、指定したテンプレートで嵌め込み合成すべき画像を指定するステップと、(G) 指定された画像を確認用テンプレートの嵌め込み予定コマに嵌め込むステップと、(H) 前記ステップ(D)～(G)を繰り返すことで、確認用テンプレートのコマに画像を嵌め込むことにより、テンプレートを使用して画像を嵌め込み合成する際の合成状態を確認可能としたことを特徴とするものである。

【0010】請求項2記載の画像合成確認方法は、画像合成の形態の違いが、1枚の記録用紙にプリントされるべきコマの個数の違いによることを特徴とするものである。

【0011】請求項3記載の画像合成確認方法は、画像合成の形態が、更に、記録用紙のサイズ、各コマのサイズの違いによることを特徴とするものである。

【0012】請求項4記載の画像合成確認装置は、画像合成の状態を確認するための表示手段と、画像合成の形態が異なった複数のテンプレートにそれぞれ対応した複数のアイコンを表示手段に表示させるための手段と、複数のアイコンの中から1つのアイコンを選択する手段と、アイコンを介して指定されたテンプレートによる画像合成の状態を確認するために、テンプレートと同じようにレイアウトされた複数のコマを有する確認用テンプレートを表示手段に表示させるための手段と、確認用テンプレート中のコマの中から合成する画像を嵌め込むコマを指定する手段と、指定された少なくとも1個のコマを嵌め込み予定コマとして識別可能に表示させるための手段と、表示手段に表示された少なくとも1つの画像の中から、嵌め込み合成すべき画像を指定する手段と、指定された画像を確認用テンプレートの嵌め込み予定コマに嵌め込む手段とを備え、テンプレートを使用して画像を嵌め込み合成する際の合成状態を確認可能としたことを特徴とするものである。

【0013】

【発明の実施の形態】図1に示す画像形成システム10は、モニタ11付きパソコン12と、カードリーダ13、反射原稿スキャナ14、フィルムスキャナ16などの画像入力装置と、画像出力装置として、各画像入力装置から取り込んだ画像をテンプレート機能を使用して画像合成してから、記録用紙に記録するプリンタ18とから構成されている。カードリーダ13、反射原稿スキャナ14、フィルムスキャナ16は、SCSIインターフェースを使用してパソコン12にカスケード接続される。カードリーダ13は、装填されたスマートメディアから画像データを読み出す。このスマートメディアには、例えば、電子スチルカメラで撮影された画像データが書き込まれる。

【0014】プリンタ18としては、例えば、銀塩式のものが用いられ、3本のレーザービームで感光材料を露光してから、感光材料に受像材料を重ね、熱を加えて受像材料にポジ画像を転写する。最後に、記録用紙としての受像材料を剥離することで写真プリントが得られる。

【0015】パソコン12は、CPU21、ROM22、RAM23、ハードディスクドライブ(HDD)24、画像補正部26、画像合成部27、画像データ変換部28とかなる。パソコン12には、キーボード31、マウス32が接続されており、これらによってパソコン12に各種の指示が与えられる。また、パソコン12には、フロッピー(登録商標)ディスクドライブなどのファイル読み取り装置33が組み込まれており、これにより画像データを記録したフロッピーディスクなどの記録媒体から画像データが取り込まれる。さらに、パソコン12は、LAN(Local Area Network)やインターネットなどのネットワーク33に接続されており、通信回線を経由して画像データの入力が行われる。

【0016】画像補正部26は、各画像入力装置からパソコン12に取り込まれた画像データに対して、濃度補正、色補正などの補正処理をする。画像合成部27は、補正処理された複数の画像を1枚の記録用紙に記録するために、各画像の倍率変換や合成処理をする。

【0017】画像データ変換部28は、各画像入力装置からパソコン12に取り込まれた画像データに対して、電子スチルカメラの分光特性を考慮したγ変換や、YMCへの色変換処理(マスキング処理)をする。変換された画像データはRAM23に書き込まれる。

【0018】スキャン条件の設定等のためのプレスキューと、プリントのためのメインスキューとを実行するが、粗い読み取りのプレスキューでは、画像データ変換部28によりγ変換をする。しかし、細かい読み取りをするメインスキューでは、プレスキューした画像に基づいて修正されたパラメータがフィルムスキャナ16内の画像データ変換部に転送される。これらのパラメータに基づいてγ変換などの処理をフィルムスキャナ16側で

するため、メインスキャン中の画像データは、画像データ変換部28をバイパスしてRAM23に送られる。

【0019】パソコン12には、画像処理及び画像合成をする画像合成ソフトがインストールされており、画像処理部26及び画像合成部27は、この画像合成ソフトを起動させることによって作動する。画像合成ソフトを起動させると、モニタ11には画像合成ソフトの各種の画面が表示され、ユーザーは、この画面の案内に従ってパソコン12に指示を与える。この指示により、画像データがRAM23から画像処理部26及び画像合成部27に送られて処理される。

【0020】画像合成ソフトには、各種の画像形成モード、例えば、「デジカメインデックスモード」、「デジカメ同時プリントモード」、「台紙貼り付けモード」と、「証明写真作成モード」等があり、基本メニューから選択することができる。これらのモードでは、テンプレート(プリントフォーマット)を使用して、画像のレイアウトの決定や画像合成が行われる。選択したテンプレートの種類によって、記録用紙上にプリントされるコマの位置及びサイズが決まっている。

【0021】「デジカメインデックスモード」では、カードリーダ13にセットされたスマートメディアに書き込まっている全画像を縮小してマトリックスに配列したインデックスプリントを作成するものである。コマ数の異なる複数のテンプレートが用意されており、このテンプレートを選択して画像合成をする。このデジカメインデックスモードでは、同じ画像を複数のコマに入れるリピート記録がない。

【0022】「デジカメ同時プリントモード」では、A4サイズの記録用紙に対しては4コマが入ったテンプレートが、A5サイズの記録用紙には2コマが入ったテンプレートが使用される。また、デジカメ同時プリントモードには、リピート記録がない。

【0023】「台紙貼り付けモード」は、例えば、バインド用の穴が形成されたアルバム台紙用の記録用紙を用い、この記録用紙に複数の画像を貼り付けた形態の記録をするものであり、プリントした記録用紙を綴ることでそのままアルバムとすることができます。1枚の記録用紙に同サイズの画像を4個、大サイズ画像を1個と小サイズ画像を2個(計3個)、大サイズ画像を2個とする等、いくつかのテンプレートが用意されている。

【0024】台紙となる記録用紙には、用途に応じて各種のものがあり、例えば、図2(A)に示すように、名刺のサイズにミシン目34aが設けられた名刺作成用の記録用紙34や、図2(B)に示すように、近年流行しているいわゆるプリクラ(登録商標)作成用の記録用紙として、裏面に粘着剤が塗布された表面を画像記録可能としたシール35aをシート35b上に貼り付けた記録用紙35などがある。また、図2(C)に示すように、2穴や26穴などのバインド用の穴36aを形成したアル

バム台紙用の記録用紙36などがある。

【0025】このような特殊な記録用紙では、記録用紙のサイズ、画像が嵌め込まれるコマのサイズ、コマの数、コマのレイアウトなどが予め決められているので、画像合成ソフトには、これらの記録用紙に対応したテンプレートが用意されている。

【0026】図3に、台紙貼り付け用のテンプレートの例を示す。テンプレート38a、38c、38d、38eは、記録用紙のサイズが「A5版」であり、テンプレート38bは、「A4版」に設定されている。テンプレート38aは、「200mm×138.5mm」のサイズのコマが1コマ、テンプレート38bは、「287mm×200mm」のサイズのコマが1コマ設定されている。テンプレート38cは、名刺作成用のテンプレートで、名刺サイズの大きさのコマが5コマ設定されている。テンプレート38dは、「89mm×127mm」のサイズのコマが2コマ設定されている。テンプレート38eは、プリクラ作成用のテンプレートで、「26mm×20mm」のサイズのコマが30コマ設定されている。なお、図2(A)～(E)のテンプレート以外にも各種のものが登録されている。

【0027】図4は、画像嵌め込みモードを選択したときにモニタ11に表示される画面を示す。画像嵌め込みモードでは、画面が、メイン領域41、第1のサブ領域42、第2のサブ領域43の3つに分割される。また、各領域41、42、43の他、画面の下方には、キーボード31から入力するコマンドやパソコン12からの各種メッセージを表示するためのメッセージ表示部46と、テンプレート選択確定ボタン、画像の読み込みボタン、画像はめ込みボタン、基本メニュー復帰ボタン、画像回転ボタン、濃度補正や色補正用の画像補正ボタン、プリント枚数指定ボタン、プリント指示ボタンなどのパソコン12に指示を与えるボタンを表示する指示ボタン表示部47が配置される。

【0028】メイン領域41には、まずははじめにテンプレートを選択するテンプレート選択画面が表示される。テンプレート選択画面には、各テンプレート38a、38b、38c・・・に対応した各アイコン56a、56b、56c・・・が、例えば、1画面内に4つずつ表示される。販送りボタン52a及び販戻しボタン52bをマウス32やキーボード31で操作することによって、予め登録されているすべてのアイコンが確認できるようにしてある。

【0029】アイコン56dを例に説明すると、その拡大図に示すように、アイコン56dは、图形57とテンプレート38dの種別を表す文字情報58とからなる。图形57は、記録用紙上にコマを配置した图形を表しており、テンプレート38dを模式的に表している。この图形57により、画像が嵌め込まれるコマの記録用紙との相対的な大きさ、コマ数、コマのレイアウトを視覚的

に確認できるようにしている。文字情報58としては、記録用紙のサイズ情報（「A5」）が表示されている。文字情報58としては、この他、テンプレートの種別に応じて、用途、画像のサイズ、コマ数などを表示してもよい。ユーザは、これら図形57及び文字情報58を確認しながら、所望のテンプレートに対応するアイコンを探し出して、テンプレートを選択する。

【0030】文字情報58とともに図形57が表示されているので、記録用紙のサイズを確認することができるとともに、テンプレートのコマの数やコマのレイアウトなどを容易に確認することができるので、テンプレートの選択がしやすい。

【0031】テンプレートの選択は、マウス32又はキーボード31で行われる。例えば、マウス32による場合には、まず、所望のアイコン56dをクリックして指定する。アイコン56dがクリックされると、そのアイコン56dにカーソルが移動してアイコン56cが反転表示する。これにより、指定されたアイコン56dと他のアイコン56a、56b、56cとの識別が可能になる。その状態でもう一度クリックすると指定されたアイコンに対応するテンプレート38dに変更される。また、キーボード31による場合には、矢印キーによってカーソルを移動してアイコン56dを指定する。その状態でリターンキーを押下するとテンプレート38dが選択される。なお、反転表示以外にもアイコン56dの色や濃度を変化させることで、他のアイコンと識別させることもできる。

【0032】第1のサブ領域42には、アイコン56dによって選択されたテンプレート38dに対応する確認用テンプレート61が表示される。確認用テンプレート61は、図形57と同様に、テンプレート38dを模式的に表したものであるが、確認用テンプレート61の各コマ61a、61bには、合成すべき画像を縮小したサムネイル画像（図4の符号62参照）が嵌め込まれる。この確認用テンプレート61により、画像合成の状態を確認できるようにしている。

【0033】この確認用テンプレート61の各コマ61a、61bのうち、いずれのコマに嵌め込むかを指定できるようにしている。この指定は、マウス32で嵌め込みたいコマをクリックすることで行う。指定されたコマは、画像が嵌め込まれる嵌め込み予定コマとして、他方のコマと識別可能のように反転表示される。図上では、コマ61aが指定されているので、コマ61bと識別可能のように反転表示される。なお、選択されたテンプレートが、1コマしかないものである場合には、アイコンを選択したときに自動的にコマが反転表示される。ユーザは、反転表示されたコマを確認して、そこに嵌めこむ画像を選択する。反転表示の他に、グレイ又は色付けして表示しても良い。

【0034】また、画像が嵌め込まれるコマの順番を初

期値として予め設定しておき、設定された順番にしたがって、テンプレート選択時に最初に画像が嵌め込まれるコマを自動的に反転表示させ、そこに画像を嵌め込んだ後、次に嵌め込まれるコマを自動的に反転表示させるようにしてよい。こうすることで、画像を嵌め込むコマを指定する操作が省略される。もちろん、この場合でも、設定された順番に関わらず、画像を嵌め込むコマをユーザが任意に変更することができ、ユーザによってコマの指定がなされると、その指定されたコマが嵌め込み予定コマとして反転表示される。さらに、1つの画像を複数のコマに同時に嵌め込むことができるように、画像を嵌め込むコマを複数個指定できるようにしてよい。

【0035】第2のサブ領域43には、読み込み画像63が表示される。第2のサブ領域43には、スクロールバー64が設けられており、このスクロールバー64を操作して、読み込み画像63をスクロールさせながらすべての画像を確認する。合成する画像の選択は、所望の画像をマウス32でクリックすることにより行われる。なお、この画像の選択の場合にも、アイコンの選択の場合と同様に、表示された複数の画像のうち指定した画像を反転表示させて他の画像と識別できるようにしてよい。

【0036】図5に示すように、例えば、読み込み画像63の中から1つの画像63xを選択すると、その画像63xが拡大されてメイン領域41に拡大画像66として表示される。この拡大表示により、濃度や色などの補正をしやすくしている。この補正は、指示ボタン部47の各種補正ボタンをマウス32で操作することにより行う。また、拡大画像66内には、水平方向及び垂直方向にトリミングライン68が表示される。トリミングライン68は、例えば、矢印キー又はマウス32の操作によって移動される。

【0037】拡大画像66として表示された画像の嵌め込み合成は、指示ボタン表示部47の嵌め込みボタンをマウス32でクリックして行う。パソコン12は、嵌め込み指示を受けると、テンプレートに所定サイズの画像を嵌め込む。この嵌め込み合成功能を表示するために、指示された画像を縮小したサムネイル画像62aを作成し、確認用テンプレート61の反転表示されたコマ61aに嵌め込む。最初のサムネイル画像62aを嵌め込んだ後、次の画像を嵌め込むコマ61bを指定すると、図4(B)に示すように、コマ61bが反転表示する。これにより、次の画像が嵌め込まれるコマを知ることができる。

【0038】以下、上記画像形成システム10による台紙貼り込み手順について図6に示すフローチャートを参照しながら説明する。画像合成ソフトを起動させると、モニタ11に基本メニュー画面が表示される。この基本メニュー画面で台紙貼り付けモードを選択する。このモード選択時に、画像の入力装置を選択する。台紙貼り付

けモードが選択されると、基本メニュー画面が図4に示す表示に切り替わり、メイン領域41にテンプレート選択画面が表示される。表示されたアイコン56の図形57及び文字情報58を参照しながら、複数のテンプレート38の中から所望のテンプレートに対応するアイコンを探しだす。例えば、テンプレート38dに対応するアイコン56dを、マウス32でクリックする。

【0039】このテンプレートの選択は、登録されているアイコン56の中から、文字情報55や図形57をもとに、所望のアイコンを探しだし、そのアイコンをクリックするだけでなので、いちいちコマ数や、画像のサイズあるいは倍率の指定などを指定する必要がなく、操作が簡単である。

【0040】テンプレート38dが選択されると、第1のサブ領域42に、選択したテンプレート38dに対応する確認用テンプレート61が表示される。次に確認用テンプレート61のコマ61a、61bのうちから、最初に画像を嵌め込むコマを指定する。例えば、コマ61aを指定すると、コマ61aが嵌め込み予定コマとして反転表示される。次に、画像読み込みボタンをクリックして、指定した画像入力装置から画像データを読み込む。画像データの読み込み時に、必要に応じて画像データの変換処理がなされて画像データがパソコン12に読み込まれる。

【0041】画像データが読み込まれると、読み込み画像63が第2のサブ領域43に表示される。表示された読み込み画像63の中から、例えば、画像63xをマウス32などで選択する。画像63xが選択されると、その画像63xが拡大されてメイン領域41に表示される。この拡大画像66を見ながら必要に応じてトリミング位置、濃度、色など各種の補正量を設定する。この補正量に応じて、画像処理された拡大画像66が再度メイン領域41に表示される。

【0042】ユーザはモニタ11に表示された拡大画像66の仕上がり状態を確認してから、嵌め込みボタンをクリックして拡大画像66の嵌め込みを指示する。これにより、指定した画像がテンプレートで画像合成される。これとともに、確認用テンプレート61の反転表示されているコマ61aに、指定した画像のサムネイル画像62aが嵌めこまれる。この後、次の画像を嵌め込むコマ62bを指定すると、コマ61bが反転表示する。次に、画像合成したい画像を選択する。この2度目に選択した画像のサムネイルが画像が確認用テンプレート61の反転表示されたコマ61bに嵌め込まれる。こうして、確認用テンプレート61のコマ61a、61bを確認しながら、テンプレートによる画像合成を行う。

【0043】確認用テンプレート61の全てのコマにサムネイル画像が嵌め込まれた後は、プリント枚数を指定してプリント指示をする。プリント指示がなされると、

RAM23から画像合成部27へ画像データが送られて画像合成処理がなされるとともに、選択されたテンプレート38cにしたがって印刷設定がなされ、プリンタ18に出力される。プリンタ18は、前記印刷設定にしたがって記録用紙に画像を記録する。これにより、確認用テンプレート61で表示されたとおりのプリント画像が得られる。

【0044】台紙として、アルバム台紙用の記録用紙36を使用してプリントすれば、そのまま記録用紙36をアルバムに綴ることができる。また、アルバム台紙用の記録用紙36の他、名刺作成用の記録用紙34、ブリクラ作成用の記録用紙35を使用した場合でも、これらに対応するテンプレートをアイコンから選択すれば、各記録用紙34、35のテンプレートに合った合成画像が簡単に得られる。

【0045】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明は、確認用テンプレート画像を用いて、画像合成状態を表示するから、不要な画像をプリントすることを防止できる。また、合成しようとする画像のサイズ、個数、レイアウトを確認することができるので、プリントミスの発生をなくすことができる。

【0046】また、本発明は、特殊な記録用紙の種類に対応したテンプレートをアイコンを選択するだけで指定することができるので、画像サイズやレイアウト等を入力することが不要となり、簡単に所望の記録用紙にプリントすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】画像形成システムの構成を示す概略図である。

【図2】各種記録用紙の例を示す図である。

【図3】各種テンプレートの例を示す図である。

【図4】モニタのテンプレート選択画面を示す図である。

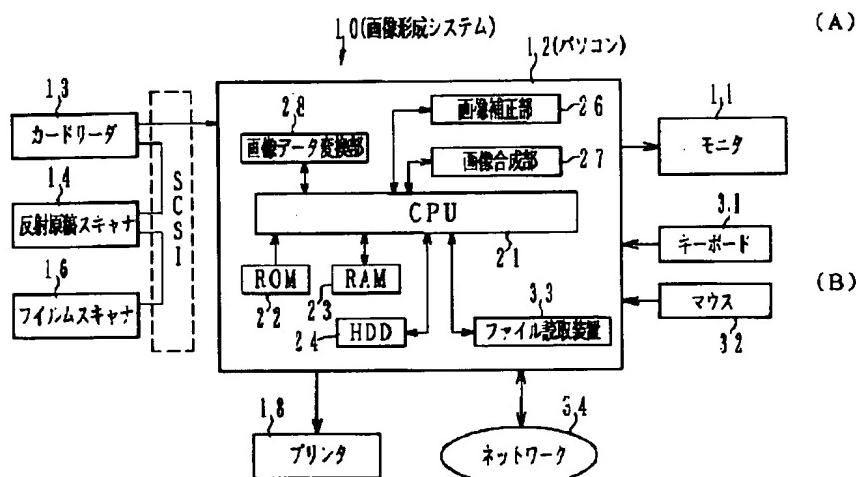
【図5】(A)は合成したい画像を選択したときの画面を示し、(B)は嵌め込みを指示し、次の画像を嵌め込むコマを指定したときの確認用テンプレートの表示例を示す図である。

【図6】台紙貼り込み手順を示すフローチャートである。

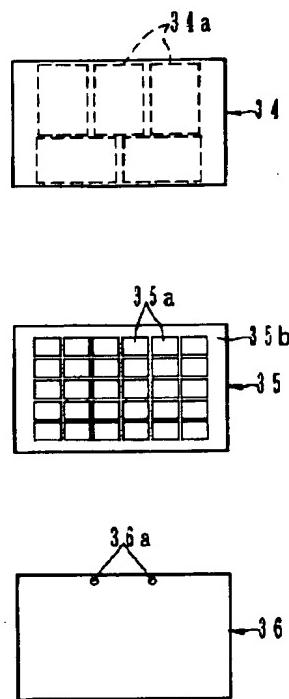
【符号の説明】

- 10 画像形成システム
- 11 モニタ
- 12 パソコン
- 18 プリンタ
- 26 画像補正部
- 27 画像合成部
- 36 テンプレート
- 56 アイコン
- 61 確認用テンプレート

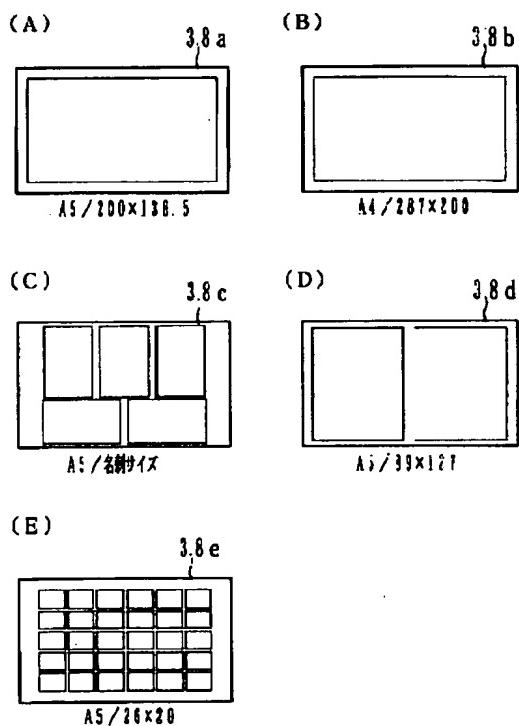
【図1】



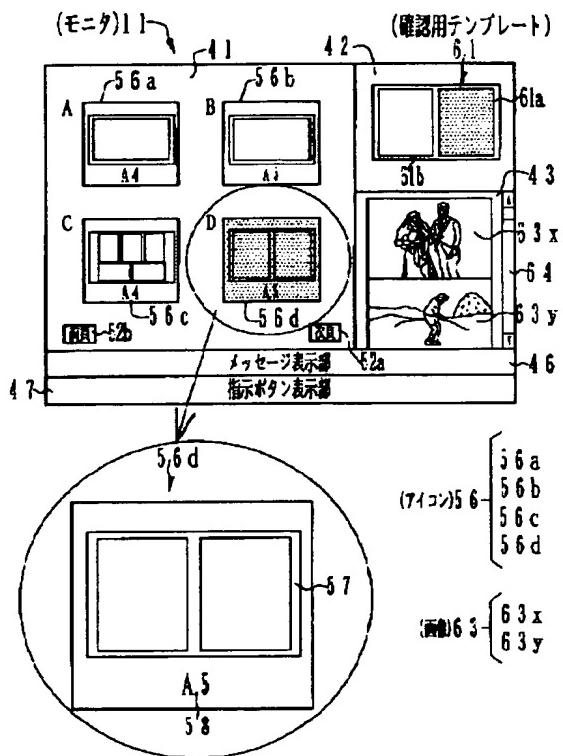
【図2】



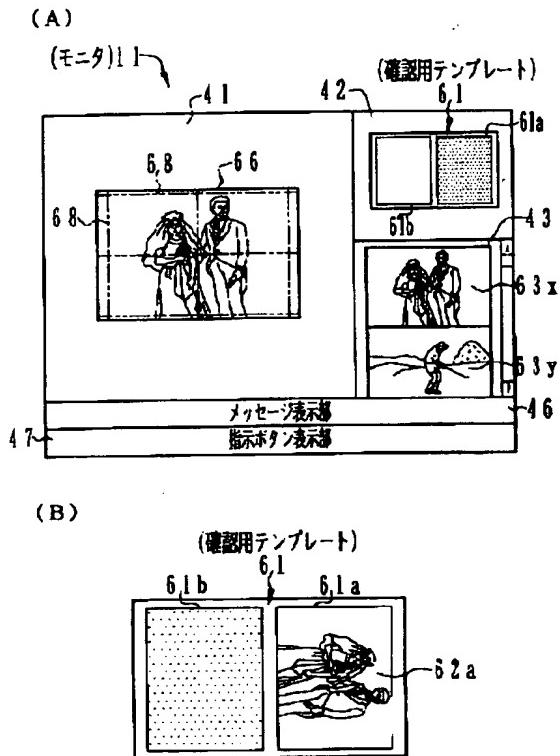
【図3】



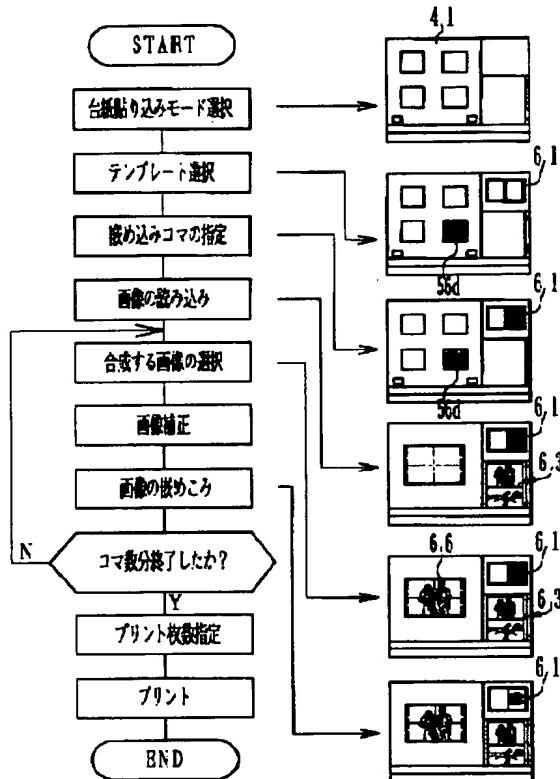
〔四〕



[5]



【図6】



フロントページの続き

(51) Int.C1.⁷
H 0 4 N 5/265

識別記号

F I
H 0 4 N 5/265マークコード(参考)
5 E 5 0 1

Fターム(参考) 5B021 AA01 LA03 LB07 QQ04
 5B050 AA09 BA11 CA07 EA03 EA12
 EA19 FA02 FA03 FA12 FA13
 FA15
 5B057 AA20 BA02 CA12 CA16 CC03
 CD05 CE08 CE09
 5C023 AA14 AA18 AA31 AA38 BA11
 CA03 CA05
 5C076 AA13 AA17 AA21 AA22 BA02
 CA02 CB02
 5E501 AC15 AC34 BA05 CA03 CB09
 DA14 EA11 EB05 EB14 FA04
 FA14 FB04